



平成12年10月6日午後1時30分
1:30 pm, on October, 6, 2000

マグニチュード7.3
最大震度6強

山陰の地震を知ろう！

平成27年**3月14日(土)**

14:00~16:30 受付13:30~

米子市福祉保健総合センター
「ふれあいの里」1階大会議室

(米子市錦町一丁目139番地3:案内図は裏面)

入場
無料

申込
不要

3. 11後の日本列島を理解するために
—山陰地方の地震帯における最先端地震観測—

最前線で活躍する研究者が最先端の地震研究を分かりやすく解説します。
また、1000点で地震観測を行う世界初の壮大な計画「満点計画」とは！

講演内容

本講演会の趣旨は裏面を御参照ください

□司会 酒井 慎一 先生 (東京大学)

『地震のことはどこまでわかっているか？』

講師 加藤 愛太郎 先生 (名古屋大学)

『地震計がとらえた2000年鳥取県西部地震を防災に活かす』

講師 香川 敬生 先生 (鳥取大学)

『見えてきた地下の様子—稠密観測から—』

講師 飯尾 能久 先生(京都大学)・塩崎 一郎 先生(鳥取大学)

『山陰地方のひずみ集中帯』

講師 西村 卓也 先生 (京都大学)

『活断層:今と昔の地震の痕跡』

講師 小林 健太 先生 (新潟大学)

『地下を覗くための世界初0.1満点地震観測

—地震学者と地域の皆さんの共同—』

講師 松本 聡 先生 (九州大学)

主催 地殻ダイナミクス研究グループ 共催 鳥取県

後援 とっとり防災危機管理研究会、鳥取大学工学部附属地域安全工学センター、
京都大学防災研究所地震予知研究センター

お問合せ先:鳥取県危機管理政策課 広域防災担当 電話:0857-26-7894

【本講演会の趣旨】

2000年鳥取県西部地震が発生して15年、日本列島では多くの地震が発生しています。未曾有の被害をもたらした2011年東日本大震災。この地震後、地震や火山活動がどうなるか予測することが重要な課題ですが、大きな困難に直面しています。

その理由は、日本の内陸における変動の仕組みを、我々が根本的には理解していなかったためです。

そのため、鳥取県西部地震の余震域において、これまで世界的にも例のない先端的な地震観測を計画しました。1000点の観測点をおよそ1kmおきに設置し1年間連続でデータを取り続けることが柱の一つです。

山陰地方の地震帯においては、「満点計画」の一環として2009年度から稠密地震観測が行われてきましたが、その成果も踏まえて、内陸地震や内陸の変動に関して、これまで未解決だった大問題の答えを得ることが本計画の目指すところです。

本講演会は、山陰地方の地震帯における地震活動や地震防災への理解を深めるとともに、鳥取県西部地域における研究計画について分かりやすく解説することを目的としています。「満点計画」の推進においては、地域の方々の暖かいご支援・ご協力を頂いていますが、本計画にも一層のご鞭撻を切望しております。

なお、本計画は、文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究（平成26～30年度 領域番号 2608）「地殻ダイナミクス — 東北沖地震後の内陸変動の統一的理解—」（代表：飯尾能久・京都大学）によりサポートされています。

【主催者：地殻ダイナミクス研究グループ】

この研究グループは鳥取大、京都大、東京大、北大、東北大、新潟大、大阪大、名古屋大、九州大ほかの地震および地質学研究者によって構成されています。

事務局：松本 聡（九州大学・大学院理学研究院地震火山観測研究センター）

九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター

〒855-0843 島原市新山2-5643-29

tel: 0957-62-6621 fax: 0957-63-0225

飯尾 能久（京都大学・防災研究所地震予知研究センター）

京都大学防災研究所 地震予知研究センター

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

tel (dial in) :0774-38-4200 fax:0774-38-4239



地殻ダイナミクス

【ふれあいの里案内図】

〒683-0811

米子市錦町一丁目139-3

tel:(0859)23-5491

fax:(0859)23-3177

